

## 会 議 概 要

会議の名称	令和2年度第4回社会教育委員会議
開催日時	令和2年3月18日(木) 13時30分 開会 15時00分 閉会
開催場所	湧別町文化センター さざ波 中会議室
出席者名	宮澤委員長、深谷副委員長、石垣、多田、佐藤、梅田、平野、三品、 杉原、武藤、寺嶋、村田各委員 12名 教委～教育長、梅津課長、中島館長、藤本主幹、杉森主査、土佐主査、 北村主査、鈴木主事
欠席者名	安瀬委員
傍聴人の数	なし
会議の内容	1. 開 会 2. 委員長あいさつ 3. 教育長あいさつ 4. 議 事 議案第1号 令和2年度社会教育事業実績、反省評価について 議案第2号 令和3年度社会教育事業計画、予算について 議案第3号 その他
会議資料	令和2年度第4回社会教育委員会議議案
会議録	■ 有 ( □全文筆記      ■要点筆記 ) □ 無
備考	

令和2年度

## 第4回社会教育委員会議案

と き 令和3年3月18日(木)

午後1時30分～

ところ 文化センターさざ波 中会議室

<会議日程>

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 教育長あいさつ

4 議 事

議案第1号 令和2年度社会教育事業実績、反省評価について P1～

議案第2号 令和3年度社会教育事業計画、予算について P13～

議案第3号 その他

・健康づくり推進協議会委員の推薦について

5 委員長あいさつ

6 閉 会

湧 別 町 教 育 委 員 会

#### 4. 議 事

##### ●議案第1号 令和2年度社会教育事業実績、反省評価について

令和2年度社会教育事業実績について、別紙資料に基づき各担当から説明を行った。

〈以下質疑応答〉

(委 員) サロマ湖100kmウルトラマラソンは中止となっても負担金は発生するのか。

(事務局) 昨年中止したのが4月であったため、そこまで準備をしてきた経費がかかっており負担金を支出しております。

(委 員) 生涯学習情報誌湧く湧くの博物館だよりについて、展示物の詳細な説明など読んでいてとても面白かった。

(委 員) 同じく博物館の湧く湧くの記事についてだが、紙面の内容が充実していて本当に面白いと感じている。図書館についてだが、内々に一生懸命活動しているのは理解しているが、それが外に発信されていないのが残念である。

##### ●議案第2号 令和3年度社会教育事業計画、予算について

(委 員) 提案になるのだが、図書館で実施している「ブックスタート」というものがあるが、「ブックゴール」というものも作ってはどうか。内容としては、いつまでに何冊本を読めばゴールというものである。ジャンルを指定しそこから何冊というようにすれば、普段読まないジャンルにも手を伸ばすきっかけになると考える。

(委 員) 図書館について、お勧めの本紹介などは図書館に行かないとわからないのがもったいない。図書館へ行けばおすすめの本にテロップがついていたりなど、とても参考になる。

(委 員) TOMの漫画美術館について、防犯カメラが少ないのではないかと心配である。

##### ●議案第3号 その他

・健康づくり推進協議会委員の推薦について

現委員である梅田唯士氏について、来年度以降も委員を務めていただけるということで承諾をいただいた。

⇒推薦者 梅田 唯士 氏

#### 7. 閉 会 (15時00分)

---

## 社 会 教 育 委 員 名 簿

役 職	氏 名	住 所	出欠	備 考
委員長	宮 澤 道	北兵村二区		
副委員長	深 谷 聡	計呂地		
	石 垣 誠 一	港 町		
	梅 田 唯 士	上湧別屯田市街地		
	平 野 寿 雄	上湧別屯田市街地		
	多 田 恵 美 子	緑 町		
	佐 藤 あ け み	登栄床		
	三 品 博 恵	南兵村三区		
	安 瀬 勇	上湧別屯田市街地		
	武 藤 智 和	開 盛		
	杉 原 武 純	旭		
	寺 嶋 誠 也	上湧別屯田市街地		
	村 田 一 平	中湧別南町		

### 教育委員会

教育長 阿部 勉

社会教育課長 梅津茂樹

社会教育グループ 主幹 藤本祐司

主査（社会教育担当）杉森伸一、主査（文化振興担当）土佐信太郎

主事 遠藤幸介、主事 鈴木健太、主事 原 茉畝

社会教育課参事 中島一之

図書館 館長（中島一之）

主査（湧別図書館）高橋結香梨、主査（中湧別図書館）北村公樹

ふるさと館 J R Y ・ 郷土館 館長（中島一之）、主任 林 勇介

## 令和2年度社会教育事業実績

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	実績額	実績(状況)等	中期計画 推進項目
基 盤 整 備	生涯学習情報の収集・提供・相談体制の充実	年間	—	○情報収集と提供 ・生涯学習情報紙「湧く湧く」の発行(毎月) ・遠軽地区情報紙「なな・なんと情報」の発行(2カ月に1回)(遠軽町が当番町) ・町ホームページによる事業PR ○相談体制の充実 ・学習に関する相談を受けられる体制整備に努める。	「湧く湧く」 印刷費 1,188千円	「湧く湧く」 印刷費 971千円	○情報収集と提供 ・生涯学習情報紙「湧く湧く」の毎月発行(6月号は原稿が不足し、発行中止。) ・遠軽地区情報紙「なな・なんと情報」の偶数月発行。(4月号、10月号のみ発行) ・町ホームページによる情報の提供・体系的整理 まちな話 原則としてすべての事業結果を掲載 施設の開館状況や、事業の変更など、臨機応変な周知対応 ・動画により一部事業を記録保存し、活用法を模索している。 ○相談体制の充実 ・地域住民の学びと活動に関する相談に随時対応している。	10-1 10-3
	指導者の発掘・養成・活用	年間	—	主体的な学習と地域貢献との好循環をすすめるため、様々な分野から指導者を発掘養成し、その活用を図る。	—	—	教室や講演ほか事業の企画にあたって、随時講師に関する情報を収集し、活用を行った。	10-4
	団体活動の支援・育成	年間	—	団体リーダーの養成を図るとともに、団体活動が円滑に行われるよう支援を行う。	—	—	コロナ禍で活動に制限を受ける中であって、団体の規模や体力をふまえて、主体的な取り組みに向けての協力を行った。	10-4
	生涯学習振興奨励事業	年間	—	(生涯学習住民活動推進事業) グループ・サークル等が主体的に行う講演会や鑑賞会などの学習活動に対して助成を行う。(補助率75%、ただし極めて公益性が高い場合は100%)	3件程度 300千円	0円	相談 0件 (該当 0件、却下 0件) 実施 0件	10-4
家 庭 教 育	家庭教育研修会	4/24(日) 変更⇒ 2/14(日)	TOM 変更⇒ さざ波	子どもを持つ親が一堂に会し、家庭教育の大切さについて学習を深める機会を提供する。健康こども課と連携し、ニーズの把握に努め定着を図る。PTA連合会へ後援依頼予定。	講師謝礼 100千円 需用費8千円	23千円	「親と子をつなぐデコパージュ教室」～ものづくりを通して交流、孤立感の解消、相談先の周知 講師 サニークラウディ 細川佐和さん 木下泉さん(雑貨製作) 参加 親子・教育関係者 9組22人 託児 4人 後援 連合PTA	1-1
	健康こども課との事業協力	年間	—	健康こども課との打合せ会議を開催し、子育て支援センター、子育て世代包括支援センターとの協働体制の充実を図る。	—	—	家庭教育支援と子育て支援の連携強化に向けた打ち合わせ会議の開催 ・11月6日実施 参加 統括保健師(子育て相談G)、子育て支援センター担当、教育AD、社会教育担当 ・議題 家庭教育研修会講師の選考について 保護者を対象とする事業に継続性を持たせる工夫	1-3 1-4
	家庭教育相談	年間	相談室ほか	教育アドバイザーによる子育ての不安や悩みについて身近に相談する機会を提供する。	—	—	校長と教育AD間の連絡により随時教育相談に対応している。 特に必要とする数名の保護者に対しては、直接の面談も含め継続的に相談をしている。	1-2
少 年 教 育	児童宿泊研修会 ⇒ 中止	6/18(木) ～19(金)	ネイバル 北見	社会性を培う機会として、全小学校5年生合同で、体験活動を実施予定であったが、十分な感染症対策と体験活動の目的達成との両立が困難であるため中止とする。	75千円 (1人2,500円 ×1/2助成) バス借上料90千円	0円	今年は6校、67名で実施予定であった。集団宿泊体験においては、実施規模の縮小や会場・内容の変更による対応は、本来期待する効果を失うものと判断したことから、実施または中止のどちらかとする前提で学校側の意見を求めた結果、中止と判断した(4月10日確定)。また、会場のネイバル北見も検討時点で開館のめどが立っていなかった。	2-1 2-4
	子ども会の育成・援助	年間	—	青少年指導センターの事務局支援とあわせ、単位子ども会や湧別地区サポート協議会のあり方について指導助言する。	補助金 400千円	補助金 100千円(見込)	子ども会員+育成者(保護者)合計740人(昨年925人)(子ども会安全会加入者数より) (関連事業に掲載) 4月24日、書面協議による総会開催。	2-2
	第1回子ども会リーダー研修会 ⇒ 中止	7/30(木) ～31(金)	五鹿山公園	住民自治の基盤ともなる地域子ども会の主体的な活動が進むよう、子ども会のリーダーとしての役割や心構えを学び、そのために必要な知識や技術の習得をめざす。また、青少年指導員の養成と活躍の機会とする。	青少年指導センター会計から支出	青少年指導センター会計から支出	児童の夏休みが減少になる中での実施は、児童の負担になることと、宿泊を伴う事業であり、調理等の実習を含めソーシャルディスタンスを保つのが困難であること等により、6月8日中止判断をした。 宿泊や食事を伴う体験事業に期待する効果と、十分な感染対策の両立が困難であることから中止とする。イークアルとの関連も含め、青少年指導員と相談し1月8日中止決定。	2-1 2-2 2-3

令和2年度社会教育事業実績

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	実績額	実績(状況)等	中期計画 推進項目
少年	北海道ジュニアリーダーコースへの派遣	R3.1/9(土)~11(月)	ネイバル足寄	実践活動を通し、地域づくりやまちづくりに参画する青少年リーダーを養成することを目的に、ネイバル北見が主催する管内研修会。地域活動に生かしてもらうため、中学生・高校生の希望者を派遣する。	参加経費等10千円 ×3人=30千円	0円	中学校、高校を通じて参加者を募集したが、本町からは参加希望なし。その後、コロナの影響から主催者により中止が決定した。ネイバル(道教育局)主催事業の中でこの事業の積極的な参加勧奨や差別化が無くなったため、町として経費負担は今年度で終了する。	2-1 2-3
	百人一首教室 ⇒中止	11月~1月 毎週土曜日	農村センター	日本古来の伝統の競技を通して、ルールを守る大切さや礼儀作法を身につける機会とする。教室で継続指導することで、指導者と参加者の地域におけるつながりづくりも目指す。大会は実行委と教委との共催。小1~大人まで対象。	報償費26千円 需用費61千円	0円	10月13日実行委員会を開催。競技種目の特性をふまえ協議の結果、教室、大会ともに中止とした。	2-1 2-3
	第52回新春交歓カルタ大会⇒中止	R3.1/17(日)						
教育	湧うゆう湧くわく体験塾 ⇒8/8(土)~	年間 (月1回程度)	町内ほか	小学校4~6年を対象に、体験の機会を提供し、生きる力と地域への愛着を養成する。また、成人ボランティアの指導を仰ぐことで地域の教育力活用にも努める。	報償費30千円 需用費20千円	報償費36千円 需用費8千円	4月25日に入塾式を実施予定であったが、一旦6月に延期。6月上旬、入塾式を8月に再延期。再募集の上再開したが、参加登録は5年生のみ5名にとどまる。8/8入塾式・パークゴルフ、8/22川釣り体験、9/5森林散策、9/19パークゴルフ・愛ランドYOU、10/17パークゴルフ、11/14カーリング、11/28Xmasリース、12/12Xmasケーキ、1/16氷下釣り、2/6木工体験、2/20流水とアザラシ、3/6流水ハイク、3/13閉塾式・レク交流 協力：パークゴルフ協会、湧別アウトドアクラブ、木工サークル、森林管理署。塾生の意見も取り入れながら活動計画し、必要な協力を求めている。	2-1 2-2 2-4
	湧別町・新篠津村友好都市少年交流事業 ⇒中止	8/5(水)~7(金)	新篠津村(派遣年)	自然や産業体験活動など、児童の派遣と受入の交流を毎年交互に行うことで、お互いのまちの魅力を学ぶとともに交流の輪を広げる。小学校5~6年およびリーダーとして、中・高校生も参加。小学生は参加経費の半額、リーダーは全額町負担。	報償費105千円 需用費10千円 借上料395千円	0円	受け入れ先の新篠津村からの申し出により、5月7日、中止とした。	2-1 2-2 2-4
青年教育	青年団体の育成・援助	年間	青年会館ほか	子どもを対象とした冬季事業、屯田七夕まつりでの出店など、地域活性化に取り組む青年団体協議会を支援する。	補助金 160千円	補助金 50千円 (見込み)	コロナ禍で活動に制限を受ける中において、単独主催事業も中止された。主体的活動に向け相談体制を保つ。	3-1 3-2 3-3 3-4
	成人式	R3.1/10(日)	文化センターさざ波	新成人を祝い励ますとともに、社会人としての意識高揚を図る。町主催、教委主管。成年年齢引き下げ(R4)後も20歳を対象とする見込。 ※軽食ボランティアの募集 ※現小学6年生に「20歳の自分へ」の作文収集	報償費404千円 需用費41千円	報償費160千円 需用費34千円	軽食ボランティアの募集と昼食交流会の実施を取りやめ。来賓、保護者の入場を一部制限する。 12/11時点で近隣市町村の開催状況もふまえ、式典を5月2日に延期決定。	3-1
成人教育	第44回湧別町民大学 ⇒9/24(木)~	9月~11月 全5回	文化センターTOM	有志実行委員会組織主催。各ジャンル講師を招き、今日的課題や地域課題等の解決に向けた学習機会を提供する。団体とのコラボ企画や、勤労世代の参加促進にも努める。町PTA連合会との連携事業。	運営費助成 2,000千円	運営費助成 830千円	6/16、8/11に実行委員会を開催。 6月実行委員会において、実施賛成派と慎重派に意見が分かれた。当初予定していた初回日程を延期して実施することで調整。5講師のうち2名辞退し全3回とした。 9/24黒川伊保子氏(99名)、10/30佐藤幹夫氏(103名)(湧高全校講演会、ラグビー部への激励も実施)、11/13本田優子氏⇒講師の所属する大学生に感染発生したため、3日前に中止決定。	
	第10回ふるさと講座	10/24(土)	文化センターさざ波	町の人を講師に、歴史、産業、地域等について価値を探り、学び合い、地域貢献につながる機会を提供する。郷土学サークル「ふるさとから学ぶ会」との共催で行う公益事業。今年度テーマは「本町」	講師謝礼 20千円	講師謝礼 20千円	森義文氏(漁協参事)、町元直春氏(漁業)、寺本由美子氏(寺本商店)、石本武男氏(漁協組合長)を講師に、ホタテの養殖漁業、加工流通、生育環境などについて生の声から学んだ。一般参加65名。	4-1 4-2 4-3 4-4
	第9回我がまち湧別町のお宝をたずねる旅⇒中止	6/20(土)	五鹿山公園	講師の案内によってバスツアー形式でたずね歩き価値を共有。今年度テーマは「五鹿山」。感染症対策として現地集合現地解散とする予定。	講師謝礼10千円 借上料55千円	0円	沢口政一氏(東町)、白幡美栄子氏(港町)、佐々木年男氏(錦町:故人)を案内人に、五鹿山の花や野鳥などを紹介する企画を計画。 4月9日、学び会との当初協議により、「バスツアー形式から現地集合・解散形式へ変更し、密集を避けて実施する」としていたが、その後、緊急事態宣言とともに社会的な自粛ムードが広まり、5月7日に中止を確定した。	
	PTA団体への援助	年間	—	各学校のPTAやその連合組織である町PTA連合会の学習活動を支援する。	補助金 180千円	補助金 50千円(見込)	連合PTA事業運営費の補助を実施。	4-2 4-4
教育	ボランティア団体との連携	年間	文化センターさざ波ほか	はまなすボランティアなど自主的な奉仕活動を支援する。	—	—	コロナ禍で団体活動に制限を受ける中において、相談窓口としての体制確保に努めた。	4-2 4-4

令和2年度社会教育事業実績

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	実績額	実績(状況)等	中期計画 推進項目
高齢者教育	チューリップ生きがい大学の開設 ⇒年度内中止	年間	文化センター・TOM・さざ波ほか	高齢者が充実した生活を送られるよう学習活動の機会を提供する。自主活動としてのクラブ活動も支援する。統合3年目を迎え、自治会組織などにおける業務分担の明確化を図る。	報償費252千円 需用費51千円 印刷製本84千円 借上料800千円	0円	147名入級、5クラブ。2度の延期の後、8/4役員会を開催した中で「心情として怖い」との意見が尊重され、今年度の全日程休校を決定した。ただし、自主活動としてのクラブ活動は、一部実施している。	5-1 5-2 5-3 5-4
	世代間交流事業・社会活動参加奨励	年間	学校ほか	学校からの求めに応じ、小中学校の総合的な学習への支援など高齢者の持つ豊かな知恵・技術を活用する場の提供に努めるとともに相互の交流を図る。	—	—	学校からの依頼を受け、総合的な学習の時間への支援を実施予定であったが、湧別小3年生との昔遊び交流、生きがい大学クラブ活動と上湧別中3年生との交流、いずれも中止。	
芸術	文化団体の育成援助	年間	—	芸術文化活動の振興を図るため文化連盟等の育成援助を行う。町内両文化協会については、令和2年度、湧別町文化連盟として統合予定。	補助金 350千円		令和2年度より加盟団体27団体を擁し、湧別町文化連盟として発足。	6-2 6-4
	鑑賞機会提供団体の育成援助	年間	各文化センター	A.良いもの見よう聞こう会の活動支援 B.企画委員会ビッグ・ウェーブの活動支援 C.その他実行委員会等への活動支援	補助金 10,000千円	0円	A.良いもの見よう聞こう会 0公演 B.企画委員会ビッグ・ウェーブ 0公演 C.その他実行委員会 0公演 新型コロナウイルス感染症に伴い中止 開催予定なし	6-1 6-2 6-4
文化	幼児芸術鑑賞会 ⇒中止	7/8(水) 7/9(木)	各児童センター	幼児対象(2日2公演) 公演内容 「どうぞのいす」人形劇団ポポロ	公演料 500千円	0円	人形劇団ポポロ「人形劇 どうぞのいす」公演 →新型コロナウイルス感染症に伴い中止	6-1
	児童芸術鑑賞会 ⇒中止	9/7(月)	文化センターさざ波	小学生対象(1公演) 公演内容 「海底2万マイル」劇団ボブラ ※町内小学校5～6年生の紋別市鑑賞会の参加なし。次回参加は令和3年度の予定。	公演料 500千円	0円	劇団ボブラ「海底2万マイル」公演 →新型コロナウイルス感染症に伴い中止。公演は次年度繰越。 ※令和3年度についても紋別市開催の劇団四季こころの劇場は中止。(対象児童5～6年生)	6-1
活動の	中学生芸術鑑賞会 ⇒中止	10/5(月)	文化センターさざ波	中学生対象(1公演) 公演内容 「真夏の夜の夢」劇団笑う猫文化事業局	公演料 500千円	0円	劇団笑う猫文化事業局「真夏の夜の夢」公演 →新型コロナウイルス感染症に伴い中止。公演は次年度繰越。	6-1
	第11回子どもミュージカル体験事業 ⇒中止	R3. 1/6～12 発表会 1/12(火)	文化センターTOM	子どもを対象に、専門家の指導によるミュージカル演劇の練習から発表までを体験することにより、芸術文化を楽しめる素養を養い、コミュニケーション力の向上と連帯感の醸成を図る。	事業費 1,120千円	0円	新型コロナウイルス感染症に伴い中止。 講師：劇団鳥獣戯画	6-1
振興	文化芸術作品展示会等の奨励	年間	文化センター	湧別町文化連盟加盟団体や町民個人を中心に、絵画や写真などの展示を実施し、芸術文化活動の振興を図る。	—		文化センターさざ波ギャラリー展示 「湧別カメラクラブ写真展」 6/26～7/10、11/1～11/13 文化センターTOMギャラリー展示 「友好都市交流コーナー」 10月～ 「松浦紀之 切り絵」 11/1～11/30 常設展示～写真、俳句、絵画(9月迄)、手芸(9月迄)、美石(9月迄)	6-2 6-3 6-4
	カルチャー教室 ⇒中止	年間	町内施設	子どもから大人までを対象に趣味や一般教養など町民のニーズに合った講座等の開催に努める。	講師謝礼 80千円	0円	新型コロナウイルス感染症に伴い未実施。	6-1
大会	第35回サロマ湖100kmウルトラマラソン ⇒中止	6/28(日)	湧別総合体育館裏	100kmスタート午前5時00分(100kmの部) 総合体育館裏(東道路上) 6/27にはウェルカムパーティー・開会式を開催	負担金3,000千円	3,000千円	中止	
	湧別町少年柔道大会「上野カップ2020」 ⇒中止	10/3(土)～4(日)	湧別総合体育館・武道館	本町のふるさと応援大使であり、柔道オリンピックメダリストの上野姉妹の冠を掲げた全道規模の小・中学生の柔道大会を開催することにより、少年相互の親睦を深め、町の活性化や交流人口の増加を図る。 参加規模：道内外小・中学生400名 大会には上野姉妹のほか、現役の女子柔道の著名人を招致する予定。	歳入総額 710千円 歳出総額 3,561千円	0円	中止	9-1 9-2 9-3 9-4
催等	町民体力テスト ⇒中止	11/29(日)	文化センターさざ波	町民に対してスポーツや運動を継続して続けることの大切さや健康づくりを高めるきっかけづくりを図る。	スポーツ推進委員報酬32千円	0円	中止	
	第45回町民300歳バレーボール大会 ⇒中止	12/6(日)	湧別総体他	自治会対抗形式9人制バレーボール大会	消耗品26千円 食糧費33千円	0円	中止	

令和2年度社会教育事業実績

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	実績額	実績(状況)等	中期計画 推進項目
スポーツ 教室・ 講習会 事業	ジュニアスイミング スクール ⇒中止	7月	湧別プール (第1回)	正しい泳法を習得させるとともに、泳ぐことの楽しさを味わわせ、水泳の普及拡大を図る。	講師謝礼 48千円	0円	中止	9-1 9-2 9-3
		8月	湧別プール (第2回)				中止	
	町民ランニング教室 ⇒中止	5/9(土)	湧別中学校 百年記念 広場	基本姿勢から高度な技術、さらには運動前後のストレッチを習得することで、運動能力の向上や怪我の予防、運動を始めるきっかけづくりを図る。 ①中学・高校部活動の部 ②ランニング教室 ③陸上教室 講師：作, AC北海道代表 作田 徹氏 作, AC北海道 菊地 真司氏 他予定 サポート：北海道大学陸上部 対象：小学生～一般	講師謝礼120千 円	0円	中止	
スポ ー ツ 教 室 ・ 講 習 会 事 業	少年少女初心者スケート教室	R3.1.12 (火)～ 14(木)	芭露ス ケートリ ンク	初心者に対してスケートの楽しさを味わわせるとともに、技法を習得させる。	講師謝礼 12千円	講師謝礼 9千円	参加者21名(延54名) 湧別小学校5名、上湧別小学校1名、富美小学校1名、芭露学園前期14名	9-1 9-2 9-3
	クロスカントリー スキー教室	R3.2.6 (土)	五鹿山ス キー場	スキーの楽しさを味わわせるとともに、初心者から上級者まで幅広い技法を習得させる。 講師：阿部雅司(リレハンメル五輪金メダリスト)	講師謝礼 60千円 スポーツ推進委員 報酬7千円	講師謝礼 60千円 スポーツ推進委員 報酬7千円	参加者午前(初心者)の部13名、午後(中・上級者の部)13名	
	健康運動教室 ⇒4～7月は中止	4月～3月	湧別総合 体育館	トレーニング器具等を使った個人(または集団や団体)指導を行うことにより町民に健康維持増進と体力の向上を図る。 担当：運動指導職員 原 栄敏 補助：スポーツ推進委員	スポーツ推進委員 報酬77千円 費用弁償12千円	スポーツ推進委員 報酬25千円	4月参加者8名(4/11のみ)、8月参加者15名、9月参加者13名(9/12のみ)、10月参加者18名、 11月参加者20名、12月24名、1月参加者27名	
	運動指導 ⇒4～7月は中止	4月～3月	湧別総合 体育館他	①湧別総合体育館トレーニングルーム指導 水・金(9:00～11:00) 火・木(14:00～16:00) ※曜日・時間は変更する可能性有 ②個別運動相談・トレーニングメニュー作成 ③保健福祉分野との連携	-	-	4月参加者10名、8月参加者9名、9月参加者10名、10月参加者37名、11月参加者16名、 12月参加者23名、1月参加者25名	
	【新規】 かんたん筋トシ 教室	9月	湧別総合 体育館	湧別総合体育館に新規機器(フリーダムラック)を導入したことに伴い、利用者へ正しい機器の使い方や基本動作を学んでもらうことを目的とし、利用者のマナーアップや怪我の予防、体力向上を図る。	-	-	9月1日(火)、3日(木)、9日(水)、11日(金)開催 参加者7名	
スポ ー ツ 推 進 委 員 事 業	チャレンジスポ ーツスクール事業	5月～3月	湧別総合 体育館他	低学年から様々なスポーツに触れることで、自分に合ったスポーツを見つけ出すきっかけづくりと、学校を越えた友達づくりの一助とする。 5月 入学式・鬼ごっこ(湧別総合体育館)中止 6月 フットベース(湧別総合体育館裏)中止 7月 キャンプ(湧別総合体育館裏)中止 8月 室内雪合戦(レイクパレス) 9月 パークゴルフ(湧別総合体育館) 10月 風船バレー・ミニバレー(湧別総合体育館) 11月 カローリング・ハッピーボーリング・ペタンク(湧別総合体育館) 12月 フロアボール(湧別総合体育館) 1月 スケート体験・氷上ホッケー(芭露スケートリンク) 2月 タグラグビー(湧別総合体育館) 3月 ミニ運動会・卒業式(湧別総合体育館)	講師謝礼 パークゴルフ 5千円 フロアボール 10千円 タグラグビー 5千円 スポーツ推進委員 報酬292千円	講師謝礼 パークゴルフ 5千円 フロアボール 10千円 タグラグビー 5千円 スポーツ推進委員 報酬25千円	8月22日 入学式・フットベースボール：27名 9月12日 パークゴルフ：20名 10月4日 五鹿山マラソン：27名 11月7日 軽スポーツ：19名 12月5日 フロアボール：18名 1月30日 スケート体験・氷上ホッケー：中止 2月13日 タグラグビー：16名 3月6日 ミニ運動会・卒業式：15名	9-1 9-2 9-3

令和2年度社会教育事業実績

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	実績額	実績(状況)等	中期計画 推進項目
スポーツ 推進委員 事業	巡回スポーツ指導	随時	町内	自治会・老人クラブ等の要請に基づき、スポーツ推進委員が外向き、軽スポーツやレクリエーションの指導を行う。	スポーツ進委員 報酬26千円			9-2 9-3
	スポーツ推進委員 研修	随時	管内 道内	町民のスポーツ活動の的確な支援を行うため、研修を通じて委員としての資質向上を図る。 遠軽・紋別地区スポーツ推進委員研修会 オホーツク管内社会体育振興セミナー 北海道スポーツ推進委員研究協議会	スポーツ進委員 報酬135千円 費用弁償98千円		10/24(土) 遠軽・紋別地区スポーツ推進委員研修会兼 オホーツク管内社会体育振興セミナー 西興部村 4名 10/8(木)～9(金) 北海道スポーツ推進委員研究協議会→中止	
団体 活動の 育成 援助等	少年スポーツ団体の 育成援助	年間	-	少年団本部への補助	補助金600千円	補助金600千円		9-2 9-4
	一般スポーツ団体の 育成援助	年間	-	体育協会への補助	補助金735千円	補助金735千円		
	大会出場助成	年間	-	全道大会以上の出場者に対して遠征費の一部を助成する。(湧別町スポーツ・文化遠征費補助金)	補助金2,000千円	補助金800千円	2月現在 5件	
	合宿誘致助成	年間	各施設	合宿を誘致することにより町のスポーツの振興を図る。 (湧別町スポーツ・文化合宿誘致事業補助金)	補助金2,423千円 詳細は別紙関連事業に記載のとおり		0件	
施設 の 整備 活用	施設の整備	年間	各施設	施設の点検、適正な維持管理を図る。	詳細は別紙社会教育施設整備計画のとおり		別紙社会教育施設整備計画のとおり	9-4
	施設の活用	年間	各施設	指定管理施設の適正かつ効率的な運営に対する監督、学校開放施設に関する利用調整など体育施設の有効活用を図る。	学校開放運営報償 190千円			
その他	スポーツ安全保険の 加入促進	随時	-	広報及び事故手続き等の補助	-			9-2

令和2年度社会教育事業実績

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	実績額	実績(状況)等	中期計画 推進項目
図書館	図書館資料の収集、整理、保存	通年	両館	・町民ニーズに合った図書、逐次刊行物、視聴覚資料等を計画的に幅広く、豊富に備え、保存する。常に新鮮で適切な蔵書構成を維持する。 ・本の修理ボランティア活動	資料費(図書、雑誌、新聞、視聴覚) 8,415千円		(2月末現在) 蔵書冊数 図書 中湧別 73,743冊+湧別 67,687冊=141,430冊 雑誌 中湧別 824冊+湧別 1,334冊=2,158冊 視聴覚資料 中湧別 1,105点+湧別 1,723点=2,828点	7-1
	利用促進、読書機会の提供	通年	両館	・調べものの相談、案内を通して利用促進を行う。			(2月まで) 開館日 252日(前年 275日)*臨時休館 4/20~5/15 ・本館貸出人数 中湧別 6,692名+湧別 3,310名=10,002名 (前年比較 中湧別 79.3% 湧別 73.9%) ・本館貸出冊数 中湧別 27,666冊+湧別 13,714冊=41,380冊 (前年比較 中湧別 89.0% 湧別 84.3%)	7-2
				新着図書案内や図書館行事など、最新情報の提供に努める。 ・読書通帳提供 ・図書館だより、新着図書案内の発行 ・ホームページの活用			・特別展示の実施 ・ブックガイド、読書通帳発行、配布 ・図書館見学(各小学校) ・図書館だより、新着図書案内の発行 ・ホームページの更新	7-2
				来館が困難な町民に対して宅配便を活用して個別に配送貸出を行う。 ・宅配貸出サービス			登録者 2名 延べ利用数 161冊(2月まで)	7-2
	ブックスタート	毎月1回	健診会場	4ヶ月児健診時に、乳児とその保護者へブックスタートバック(絵本などが入ったバック)をメッセージと共に手渡す。また、5歳児健診時には絵本を1冊とブックガイドを渡す。 協力(バック制作) ・ルピナスの会 協力(読み聞かせ) ・リーディング倶楽部たんぽぽ ・湧高ボランティア部			(2月まで) ・ブックスタート 39組 ・ブックスタートプラス 51組	7-2
	絵本くらぶ	年間(毎月1回)	両館	3歳までの乳幼児がいる家庭におすすめ本セットを宅配する。(登録制)			(2月まで) ・述べ 235名 1,175冊	7-2
	移動図書館車の運行 ⇒7月開始	通年	両館	移動図書館車で町内を巡回し、広域サービスを実施する。機動性を活かし遠隔地域を中心に据え、子どもから大人まで図書に出会う場を広げ、読書活動の推進を図る。 図書館職員が選本した文庫を配本する。 ・各小中学校、義務教育学校、湧別高校 ・各郵便局 ・児童施設 ・高齢者施設等			(2月まで) ・個人団体貸出冊数 21,257冊(連休期間 4/20~6月末) 内訳 個人 5,481冊(前年比較 49.7%) 団体 15,776冊(前年比較 76.2%)	7-3
	学校図書館支援	通年	町内学校	・クラス配本 ・学校図書館用図書の購入支援 ・学校図書館レイアウト相談 ・調べ学習用図書整備 ・学校図書館蔵書管理、蔵書計画 ・図書館見学の受入 ・職場体験の受入 ・読書オリエンテーション			・クラス配本 ・学校図書館用図書の購入支援 ・学校図書館レイアウト相談 ・調べ学習用図書整備 ・学校図書館蔵書管理、蔵書計画 ・図書館見学の受入 ・読書オリエンテーション	7-4
	映画上映会	年2回	湧別図書館	湧別図書館の多目的室を活かし定期的に映画会を行う。	消耗品 50千円(DVD)		適切なコロナ対策を確立出来ないため、今年度は、中止とした。	7-2 7-3

令和2年度社会教育事業実績

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	実績額	実績(状況)等	中期計画 推進項目	
図書館	古本市 ⇒ロビー展示に変更	7月・8月	両館	古本、古雑誌のリサイクル活動。 協力：湧高ボランティア部			9月からロビー等にて実施 累計利用数 中湧別 2,309冊(昨年古本市利用 2,998冊) 湧別 2,014冊(2,129冊)	7-2 7-3	
	特別展示	9月～10月	両館	町民大学講師著作展示			町民大学講師著作展示	7-2 7-3	
		年間	両館	テーマ：年中行事			母の日、貸出ランキング、大人の脳トレ、父の日、日本書紀、ユーモア絵本、雨を楽しむ絵本、エコをはじめよう、七夕、日本絵本賞、秋を感じる絵本、クロワッサン、ハロウィン、クリスマス、お正月、ミステリー、冬のおすすめ絵本、福袋、鬼、ひな祭り、お菓子の本、レシビ本大賞		
		4/23～ 5/10	両館	子ども読書週間			絵本「ノラネコぐんだん」(中湧別図書館) 幼稚園絵本大賞受賞作品(湧別図書館)		
		10/27～ 12/5	両館	読書週間			本でGOTOトラベル 10/27～11/22 中湧別図書館 新聞記事で振り返る湧別の昭和 10/27～11/14 湧別図書館		
		11/26～ 12/8	中湧別 図書館	絵本原画展示	著作物使用料 30千円	著作物使用料 8千円	絵本原画巡回展「猫写真パネル」7/2～7/12 「にゅうしちゃん」11/26～12/8		
		年間	両館	協力展示(展示スペースの貸出)	—		教科書、日ハムキャンペーン「青少年のための200冊」、町民大学講師著作		
	活動	連携・ネットワー ク	通年	両館	・ボランティア、サークル育成 読み聞かせ活動支援(りんごっこ、リーディン グ倶楽部たんぼぼ、湧別高校ボランティア部) 読書推進活動支援「オープンブックカフェ」			適切なコロナ対策を確立出来ないため、活動を休止している。	7-4
			年3回	児童セン ター	・児童センター事業支援 読み聞かせ会参加協力、読書推進事業の実施			10/21 子育て支援センター事業 絵本講座	
			会議3回 研修2回	湧別 図書館	・図書館協議会 定例会議 委員視察研修(遠紋ブロック研修会) (オホーツク管内公共図書館協議 会)			第1回会議 6/30 出席委員 5名 第2回会議 11/27 出席委員 5名 第3回会議 2/25 出席委員 5名	
未定			湧別 図書館	・紋別遠軽ブロック研修会(主管)			11月9日開催 テーマ「非常時、災害時の危機管理」18名参加 講師 紋別市休日夜間急病センター 服部淳一医師		

令和2年度社会教育事業実績

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	実績額	実績(状況)等	中期計画 推進項目
文化財保護	文化財の保護① 埋蔵文化財	年間	町内各所	<ul style="list-style-type: none"> <li>○開発行為に伴う埋蔵文化財の保護事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発事業者との事前協議と各種調査</li> </ul> </li> <li>○埋蔵文化財包蔵地の状況把握 <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状確認作業(遺跡パトロール)</li> <li>・周知資料の整備</li> </ul> </li> <li>◎シブノツナイ竪穴住居跡の発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>・竪穴住居跡の年代等内容確認</li> <li>＊7月16日～8月12日予定</li> </ul> </li> <li>○道教委による重要遺跡確認調査の支援(川西2遺跡)実施未定</li> </ul>		文化財環境整備委託料(史跡等草刈り分)374千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>○開発行為に伴う埋蔵文化財包蔵地の保護活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・埋蔵文化財包蔵地の照会：18件</li> <li>・事前協議：4件(所在調査4件、試掘調査決定2件)</li> <li>・試掘調査：1件(道教委支援)</li> <li>・包蔵地カードの内容確認作業(地番と土地所有者の確認)</li> </ul> </li> <li>○埋蔵文化財包蔵地の状況把握 <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状確認作業(遺跡パトロール)随時実施</li> <li>・周知資料の整備</li> <li>・道史跡内の国有地について協議</li> </ul> </li> <li>◎シブノツナイ竪穴住居群の保護 <ul style="list-style-type: none"> <li>遺跡の内容詳細を把握するための発掘調査 7月16日から8月12日</li> </ul> </li> <li>○道教委による重要遺跡確認調査の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・川西2遺跡：今年度は発掘調査なし(昨年度の出土資料の分析調査は継続中)</li> <li>・令和2年度第1回竪穴住居群調査懇談会 湧別町で開催 7月22日(道教委主催)</li> </ul> </li> </ul>	8-1
	文化財の保護② 自然関連	年間	町内各所	<ul style="list-style-type: none"> <li>○北海道指定文化財アッケシ草群の経過観察</li> <li>○天然記念物の手続(死亡・はく製・調査) <ul style="list-style-type: none"> <li>・オシロワシ</li> <li>・タンチョウ</li> </ul> </li> <li>○記念木業務における関連部署との調整</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○北海道指定文化財「佐呂間湖畔鶴沼のアッケシソウ群落」の経過観察 <ul style="list-style-type: none"> <li>・経過観察の実施(9月)</li> </ul> </li> <li>○天然記念物の手続(死亡・はく製・調査) <ul style="list-style-type: none"> <li>・0件</li> </ul> </li> <li>○記念木 <ul style="list-style-type: none"> <li>・0件</li> </ul> </li> </ul>	8-1
博物館活動	博物館資料① 収集	年間	郷土館・ふるさと館JRY	○資料寄贈への対応(おおむね昭和20年代以前の資料を対象)			<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料寄贈への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄贈資料受入14件(タンスほか)</li> <li>・埋蔵文化財の譲与申請：該当なし</li> </ul> </li> </ul>	8-1
	博物館資料② 整理・保管	年間	郷土館・ふるさと館JRY・収蔵庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>○考古資料 <ul style="list-style-type: none"> <li>・三宅コレクションの整理</li> </ul> </li> <li>○開拓関連資料 <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の写真撮影</li> <li>・保存環境の整備</li> </ul> </li> <li>○収蔵庫の管理と保管資料の状況確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>・分類整理(同種資料整理)</li> <li>・資料外保管物の処分</li> <li>・JRY収蔵量増加</li> <li>・移動の準備(旧邑小体育館)</li> </ul> </li> <li>○収蔵資料の特別利用許可に関する業務</li> </ul>	旧邑小体育館 収蔵棚作成 2775千円		<ul style="list-style-type: none"> <li>○考古資料 <ul style="list-style-type: none"> <li>・湧別市川遺跡出土資料の計測と資料台帳作成</li> </ul> </li> <li>◎三宅コレクションの整理と台帳整備</li> <li>○収蔵庫の管理と資料保管 <ul style="list-style-type: none"> <li>・上湧別収蔵庫：資料清掃</li> <li>・旧邑露小学校体育館：移動式収蔵棚の製作</li> </ul> </li> <li>○収蔵資料の特別利用許可 <ul style="list-style-type: none"> <li>・3件(屯田兵関連資料)</li> </ul> </li> </ul>	8-1
	調査研究	年間	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>【博物館資料(開拓期)の保存・活用】</li> <li>○保存 <ul style="list-style-type: none"> <li>◎屯田資料</li> <li>・文書資料等の分類整理</li> </ul> </li> <li>○活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬季演習資料の分析</li> <li>・開拓期の衣食住</li> <li>・冬期の生活</li> </ul> </li> <li>【埋蔵文化財の保存・活用】</li> <li>○保存(主にシブノツナイ竪穴住居群) <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度発掘調査概要報告書の作成</li> <li>・竪穴住居跡の年代と集落形成に関する研究</li> <li>・北海道考古学会 研究大会発表(11月)</li> </ul> </li> <li>○活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・遺跡を活用した博物館教育の実践的研究</li> </ul> </li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>【博物館資料(開拓期)の保存・活用】</li> <li>○保存 <ul style="list-style-type: none"> <li>・収蔵資料の保存に関する調査研究(害虫等)</li> <li>・資料清掃および注記(大型機械、鉄道資料)</li> </ul> </li> <li>○活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・火・炊飯体験の方法研究</li> <li>・冬季の生活</li> <li>・(通史)新赴任教員用資料の更新</li> </ul> </li> <li>【埋蔵文化財の保存・活用、博物館教育】</li> <li>○保存 <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集：シブノツナイ竪穴住居群と他の擦文文化の集落構成の比較</li> <li>・科学分析：粘土組成分析(シブノツナイ竪穴住居群採取)北海道大学大学院専門研究員 今泉和也</li> </ul> </li> <li>・発掘調査：シブノツナイ竪穴住居跡 令和2年度発掘調査概要報告書(3月下旬発行予定)</li> <li>○活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材研究：遺跡散策ガイドブック『遺跡のミカタ』の更新</li> <li>・事例発表：北海道考古学会研究大会『北海道に残る2万3千の竪穴』11月21日、札幌市(予定)</li> </ul> </li> <li>「湧別の大規模竪穴群」(仮題)→令和3年5月29日に延期</li> <li>・寄稿：道博協学会職員部会第7回コラム『学芸員のお仕事』『発掘調査は一石三鳥のお仕事!』(9月投稿)</li> </ul>	8-1

## 令和2年度社会教育事業実績

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	実績額	実績(状況)等	中期計画推進項目
博物館活動	展示	年間	郷土館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○収蔵資料の展示                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度の発掘調査成果展(仮)</li> </ul> </li> <li>○郷土館ガイド                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示解説(5月～9月)→今年度中止</li> <li>・解説活動のためのガイド研修会</li> </ul> </li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○展示                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・シブノツナイ堅穴住居群 令和元年度調査速報展：6月26日から12月27日まで</li> </ul> </li> <li>○郷土館ガイド                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイド活動：中止(例年は5月～9月に実施)</li> <li>・100キロマラソン前日の展示解説会：中止</li> <li>・研修会：中止(例年、発掘調査や近隣の博物館を視察)</li> <li>・上野カッパ当日の展示解説会(中止)</li> </ul> </li> <li>○入館者数(2月26日現在)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・297人(大人212人、内町民43人、幼児～高校85人、内町民73人)</li> </ul> </li> </ul>	8-2
			ふるさと館JRY	<ul style="list-style-type: none"> <li>○常設展示更新                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・解説パネルの追加</li> <li>・整理済み資料の追加</li> <li>・展示物固定</li> </ul> </li> <li>○収蔵展示室整備</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○入館者数(2月26日現在)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・713人(大人386人、内町民87人、幼児～高校345人、内町民146人)</li> </ul> </li> </ul>	8-2
	博物館教育① 学校授業・研修会・講座	年間	郷土館・ふるさと館JRY	<ul style="list-style-type: none"> <li>【学校授業・研修会・講座】</li> <li>○開拓の歴史                             <ul style="list-style-type: none"> <li>(博物館が持つ過去の生活情報の内、日常生活に活用できるものを体験学習として実施)                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・労働体験(鋸・斧・鉋)</li> <li>・炊飯体験(薪ストーブ・羽釜)</li> <li>・開拓期の衣体験</li> <li>・囲炉裏疑似体験(屯田生活体験館)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○先史文化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>(地域の財産である遺跡に触れ、親しむ機会の提供)                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・先史の工夫を体験するモノづくり学習(土器・勾玉)</li> <li>・遺跡に親しむフィールドワーク</li> <li>・遺跡の知識を深める考古学関連講座</li> <li>発掘調査報告会 →11/28(土)予定</li> <li>*調査成果に応じて実施を判断する</li> <li>・発掘調査現地説明会の開催 →中止</li> <li>・大学と発掘調査を通じた連携</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>【学校授業、研修会等の学習機会提供】</li> <li>○授業及び展示解説実績(2月26日現在)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①ふるさと館JRY：26件409人(内学校：21件358人)</li> <li>②郷土館：4件57人(内学校：2件23人)</li> <li>③出張講演：14件343人(内学校：14件343人)</li> <li>④施設利用：5件182人</li> </ul> </li> <li>【講座等】</li> <li>○発掘調査現地説明会、郷土館展示解説会：中止</li> <li>○令和2年度発掘調査成果報告会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>11月28日(土)(予定)</li> <li>参加者数各60名</li> <li>→中止</li> </ul> </li> </ul>	8-3
博物館教育② 広報・情報提供	年間	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>【広報・情報提供】</li> <li>○博物館だよりの発行(湧く湧く内、HP)</li> <li>○郷土史に関する情報提供及び質問対応(レファレンス)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>【情報公開】</li> <li>○広報                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館だよりの発行(湧く湧く内)：4～3月号(124号～135号)</li> </ul> </li> <li>○郷土史に関する問い合わせ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・6件(屯田兵祖先調べなど)</li> </ul> </li> </ul>	8-3	

中期計画推進項目の欄は、第2次湧別町社会教育中期計画における推進項目との対応を示すものです。

中期計画における領域	推進項目	表記
第1節 家庭教育	学習機会の提供	1-1
	活動等の支援	1-2
	学習環境づくり	1-3
	連携ネットワーク	1-4
第2節 少年教育	学習機会の提供	2-1
	活動等の支援	2-2
	学習環境づくり	2-3
	連携ネットワーク	2-4
⋮	⋮	⋮
第10節 生涯学習の基盤整備	学習推進体制整備	10-1
	施設整備・活用	10-2
	学習情報収集・相談	10-3
	指導者養成・団体	10-4
	連携ネットワーク	10-5

令和2年度 関連事業（後援・連携事業等）

団体名	事業名	期日	場所	計画内容等	実績（状況）等	備考
青少年指導センター	子ども会フットベースボール大会	6/21 (日) 中止	湧別小グラウンド	単位子ども会の大会への参加を通して、青少年の健全育成を図ると同時に、地域子ども会活動の促進と、相互の交流を図る。また、監督会議や反省会等を通じ、育成会からなる組織運営の健全化を図り、地域自治の基盤づくりを支援する。	小学校運動会の延期と、練習を含めて予防策が十分に取れないことから中止を提案。延期については、他の行事予定が既に詰まっていることから、不可能と判断。	
	子ども会交通安全駅伝競走大会	8/30 (日) 中止	開盛小 → 中湧別小		6月18日、役員会で実施の可否を協議。選手のバス移送など密集が課題となり、代替案として周回コースでの大会を提案。52年続いてきた大会の伝統を踏まえ、駅伝競走大会は中止とし、新規大会として「子ども会交流リレーマラソン」をチューリップ公園内で開催することで合意。8月4日、監督会議開催し、周知参加募集したが、最終（8/26）申込は3チームのみだったため、役員と教委で協議した結果、競技が成り立たないと判断し中止。	
	子ども会ミニバレーボール大会	11/22 (日) 中止	農村センター 湧別総合体育館		10/22監督会議。参加数が基準に満たなかったため、11/9主催者と協議を行い、中止と判断。	
	子ども会リーダー研修会	7/30(木) ~31(金) 3/25(木) ~26(金)	五鹿山公園 紋別生涯学習センター	社会教育事業 少年教育参照	社会教育事業 少年教育参照（中止）	
	中高生リーダーの養成	年間	ふるさと館JR Yほか	リーダー研修会の企画運営などを通じた、中・高生リーダークラブ「E=QVL（イクアル）」および「Rainbow prop（レインボープロップ）」と、その指導にあたる青少年指導員の活動を支援し、地域づくりやまちづくりに参画できるリーダーの養成に努める。	青少年指導員：4名 E=QVL：13名登録 Rainbow prop：1名登録 7/23~24事前1泊研修会（中止） 7/30~31第1回リーダー研修会（中止） 3/25~26第2回リーダー研修会（中止） リモート研修会の実施に向け、指導員により指導方法を研究中。	
町民会議	青少年健全育成町民会議事業	年間		青少年のたくましく健全な成長と青少年問題の理解を深めるとともに健全育成を図る。①あいさつ運動②指導、補導③青少年だより発行④優良青少年表彰	①あいさつ運動②街頭補導③青少年だより発行	
文化連盟	総合文化祭	芸能の部 10月~11月 ⇒中止	文化センターさざ波	町内の芸術・文化関係者による日頃の活動成果の発表の機会と、町民に芸術・文化活動にふれてもらい文化の振興、発展を促します。令和2年度より、湧別地区・上湧別地区を統一して開催予定。	新型コロナウイルス感染症に伴い中止	
		展示の部 10/17~18 ⇒中止	文化センターTOM			
良いもの男よう開こう会	芸術鑑賞会	通年	各文化センター	8/22(土) 文化センターさざ波 ⇒中止 ミッフィーこどもミュージカル 9/18(金) 文化センターTOM ⇒中止 清水ミチコトーク&ライブ2020	新型コロナウイルス感染症に伴い中止 公演は次年度繰越予定	
ビッグ・ウェーブ	芸術鑑賞会	通年	各文化センター	未定	開催なし	

令和2年度 関連事業（後援・連携事業等）

団体名	事業名	期日	場所	計画内容等	実績（状況）等	備考
体育協会	ゆうべつ五鹿山マラソン2020	10/4 (日)	五鹿山スキー場	五鹿山スキー場を駆け上がるマラソン大会を実施することにより、町民の体力増進や健康づくりを高めるきっかけづくりと地域の更なる一体感の醸成を図ることを目的とする。	一般の部（男子17名・女子5名） 22名 高校生（男子）の部 22名 中学生の部（男子3名・女子2名） 5名 小学生（高学年）の部 8名 小学生（低学年）の部 32名 合計 89名	教委、スポーツ推進委員も運営協力
実行委員会	【新規】チャレンジデー2020	5/27 (水) (中止)	町内	住民総参加型のスポーツイベントである「チャレンジデー」に参加し、町民の健康づくりや体力づくり、スポーツやレクリエーション活動への参加意欲の高揚と習慣化を推進する。	中止	
	厚別アトムズ合宿（少年野球）	7~8月	中湧別・湧別球	練習試合をメインとした合宿で、町内野球少年団との交流により、スポーツに対する意欲の向上を図る。 合宿予定人員：40名（指導者含む）予定	中止	
	日本大学体育会合気道部合宿	10/30 ~11/3	レイクパレス	合宿中に行われる公開練習や演武会、教室等の開催により合気道の普及を図るとともに町民との交流を図る。 合宿予定人員：30名予定	中止	
	駒大苫小牧高校野球部合宿	8月	湧別野球場ほか	名門野球部を誘致し、近隣市町村を含めた高校との練習試合を町内で開催することにより、町民のスポーツに対する興味・関心を引き、スポーツによる町の活性化を図る。 合宿予定人員：90名予定	中止	
	札幌合気会合宿	9/19 ~21	レイクパレス	町内で合宿を行い、公開練習等を通して町民と交流を図るとともに合気道の普及を図る。 合宿予定人員：30名予定	中止	
	北柔会関連道場柔道合宿	10月	湧別総合体育館	柔道合宿のほか、町内の子ども達に対する柔道教室を開催することで、柔道の普及、交流人口の拡大を図る。 合宿予定人員：80名（指導者含む）予定	中止	
	湧別原野林ツツクワカトリスキ大会	R3. 2/28 (日)	遠軽町→湧別町	原野コース80km、北大雪コース56km、遠軽コース22km、湧別コース24km、10kmコース、5kmコース、駅伝コース95km	中止	

令和2年度社会教育施設整備計画（500千円以上または主要なもの）

（単位：千円）

施設名	改修・整備等内容	事業費	実績額	備考
文化センターさざ波	建物塗装工事（さざ波西面 全5期中3期目）	13,400	12,100	
	地下内ピット排水ポンプ取替修繕	734	726	
	空調機CO <sub>2</sub> センサー取替修繕	513	513	
	真空式ボイラー制御盤取替修繕	631	605	
文化センターTOM	非常用設備修繕	3,239	3,080	
	電動式移動観覧席修繕	3,063	3,063	
湧別総合体育館	トレーニング機器借上（5年リース） トレッドミル、アップライトバイク インパクトチェストプレス インパクトラットプルダウン インスティンクトペクトラルフライ/リアデルト インスティンクトレッグプレス/カーフ インスティンクトレッグエクステンション/カーフ 各1台（合計7台）	1,298	1,298	
	フリーダムラック購入	1,878	1,859	
中湧別総合体育館	大規模改修工事	303,800	300,850	
湧別運動公園	野球場不陸整正	5,830	5,720	
	LED街路灯設置工事	980	935	
五鹿山スキー場	五鹿山スキー場キューピクル部品取替工事	1,390	1,375	
	スノーモービル購入	1,290	1,243	
ふるさと館JRY	JRY屋根修繕	1,297	1,287	
屋内各社会教育施設	手洗い場自動水栓化工事（10施設65か所） （補正予算対応）	8,500	6,206	交付金事業

令和3年度社会教育事業計画

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画 推進項目
基 盤 整 備	生涯学習情報の収集・提供・相談体制の充実	年間	—	○情報収集と提供 ・生涯学習情報紙「湧く湧く」の発行（毎月） ・遠軽地区情報紙「なな・なんと情報」の発行（2カ月に1回）（佐呂間町が当番町） ・町ホームページによる情報の体系的整理と提供 動画による事業記録を収集し活用法を模索 ○相談体制の充実 ・生涯学習に関する相談体制の整備に努める。	「湧く湧く」 印刷費 1,188千円	10-1 10-3
	指導者の発掘・養成・活用	年間	—	主体的な学習と地域貢献との好循環をすすめるため、様々な分野から指導者を発掘養成し、その活用を図る。	—	10-4
	団体活動の支援・育成	年間	—	団体リーダーの養成を図るとともに、団体活動が円滑に行われるよう支援を行う。	—	10-4
	生涯学習振興奨励事業	年間	—	（生涯学習住民活動推進事業） グループ・サークル等が主体的に行う講演会や鑑賞会などの学習活動に対して助成を行う。（補助率75%、ただし極めて公益性が高い場合は100%）	3件程度 300千円	10-4
	施設の整備・運営・連携	年間	—	公共施設再配置計画など上位計画との整合を図りながら、施設の計画的な補修や整備を行うとともに事業連携・施設間連携により学習効果の向上を図る。	別紙施設整備計画 のとおり	10-2 10-5
家 庭 教 育	家庭教育研修会	12/12 （日）	文化センター TOM	家庭教育が困難な現状の共通理解と家庭教育の重要性を啓発するための研修会。健康こども課と連携し、ニーズの把握に努め定着を図る。PTA連合会へ後援依頼予定。	講師謝礼 100千円 需用費8千円	1-1
	健康こども課との事業協力	年間	—	健康こども課との打合せ会議を開催し、子育て支援センター、子育て世代包括支援センターとの協力体制の充実を図る。	—	1-3 1-4
	家庭教育相談	年間	相談室ほか	教育アドバイザーによる子育ての不安や悩みについて身近に相談する機会を提供する。	—	1-2
少 年 教 育	児童宿泊研修会	6/17(木) ～18(金)	ネイパル 北見	社会性を培う機会として、全小学校5年生合同で、体験活動を実施。担当教職員の事前打合せと反省会も行い、目的や役割分担の共通理解やノウハウの蓄積を図る。	参加費57千円 （2,500円×1/2 ×45人） バス借上料49千円	2-1 2-4
	子ども会の育成・援助	年間	—	青少年指導センターの活動支援とあわせ、単位子ども会や湧別地区サポート協議会のあり方について指導助言する。	補助金 250千円	2-2
	第1回子ども会リーダー研修会（仮）	7/28(水) ～29(木)	五鹿山公園	住民自治の基盤ともなる地域子ども会の主体的な活動が進むよう、子ども会のリーダーとしての役割や心構えを学び、そのために必要な知識や技術の習得をめざす。また、青少年指導員の養成と活躍の機会とする。	青少年指導センター 会計から支出	2-1 2-2 2-3
	第2回子ども会リーダー研修会（仮）	3/29(火) ～30(水)	紋別市生涯学習センター			
	百人一首教室（仮）	11月～1月 毎週土曜日	農村センター	日本古来の伝統の競技を通して、ルールを守る大切さや礼儀作法を身につける機会とする。教室で継続指導することで、指導者と参加者の地域におけるつながりづくりも目指す。大会は実行委と教委との共催。小1～大人まで対象。	報償費24千円 需用費43千円	2-1 2-3
	第53回新春交歓カルタ大会	R4.1/23 （日）				
湧うゆう湧くわく体験塾	年間 （月2回程度）	町内ほか	小学校4～6年を対象に体験の機会を提供し、知的探求心、地域への愛着とコミュニケーション能力を養成する。また、成人ボランティアの指導を仰ぐことで地域の教育力活用を図る。	報償費35千円 需用費20千円	2-1 2-2 2-4	

## 令和3年度社会教育事業計画

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画 推進項目
少年教育	湧別町・新篠津村 友好都市少年交流 事業	8月	新篠津村 (派遣 年)	自然や産業体験活動など、児童の派遣と受入の交流を毎年交互に行うことで、お互いのまちの魅力を学ぶとともに交流の輪を広げる。小学校5～6年およびリーダーとして、中・高校生も参加。小学生は参加経費の半額、リーダーは全額町負担。	報償費90千円 需用費10千円 借上料395千円	2-1 2-2 2-4
青年教育	青年団体の 育成・援助	年間	青年会館 ほか	子どもを対象とした冬季事業、屯田七夕まつりでの出店など、伝統を受け継ぐ青年団体協議会を支援する。	補助金 160千円	3-1 3-2 3-3 3-4
	【令和2年度から延期】 令和3年成人式  令和4年成人式	R3.5/2 (日)  R4.1/9 (日)	文化セン ターさざ 波	新成人を祝い励ますとともに、社会人としての意識高揚を図る。町主催、教委主管。成年年齢引き下げ(R4)後も20歳を対象とする見込。 ※軽食ボランティアとの協働 ※現小学6年生に「20歳の自分へ」の作文収集	報償費533千円 需用費41千円	3-1
成人教育	第45回 湧別町民大学	9月～11月 全5回	文化セン ターTOM	有志実行委員会組織主催。各ジャンル講師を招き、今日の課題や地域課題等の解決に向けた学習機会を提供する。団体とのコラボ企画や、勤労世代の参加促進にも努める。町PTA連合会との連携事業。	運営費助成 2,000千円	4-1 4-2 4-3 4-4
	第11回ふるさと 講座	10/2(土) (仮)	未定	町の人を講師に、地域の価値を学び共感する機会提供のための座学講座。郷土学サークル「ふるさとから学ぶ会」との共催で行う。今回のテーマは「湧別川」(仮)	講師謝礼 20千円	
	第9回我がまち湧 別町のお宝をたず ねる旅	5/22(土)	五鹿山公 園	普段見落としがちな町の価値(ニお宝)を、それに詳しい講師の案内によってバスツアー形式でたずね歩き価値を共有する。昨年中止となった「五鹿山」の魅力を体感する企画	講師謝礼10千円 借上料55千円	
	PTA団体への 援助	年間	—	各学校のPTAやその連合組織である町PTA連合会の学習活動を支援する。	補助金 180千円	
	ボランティア団体 との連携	年間	文化セン ターさざ 波ほか	はまなすボランティアなど自主的な奉仕活動を支援する。	—	
高齢者教育	チューリップ生き がい大学の開設	月1回 程度	文化セン ターTOM・ さざ波ほ か	高齢者が充実した生活を送られるよう学習活動の機会を提供する。自主活動としてのクラブ活動も支援する。	報償費236千円 需用費36千円 印刷製本83千円 借上料680千円	5-1 5-2 5-3 5-4
	世代間交流事業・ 社会活動参加奨励	年間	学校ほか	学校からの求めに応じ、小中学校の総合的な学習への支援など高齢者の持つ豊かな知恵・技術を活用する場の提供に努めるとともに相互の交流を図る。	—	

令和3年度社会教育事業計画

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画 推進項目
芸術文化活動の振興	文化団体の育成援助	年間	—	芸術文化活動の振興を図るため文化連盟等の育成援助を行う。	補助金 350千円	6-2 6-4
	鑑賞機会提供団体の育成援助	年間	各文化センター	A.良いもの見よう聞こう会の活動支援 B.企画委員会ビッグ・ウェーブの活動支援 C.その他実行委員会等への活動支援	補助金 10,000千円	6-1 6-2 6-4
	幼児芸術鑑賞会	7/6(火) 7/7(水)	各児童センター	幼児対象(2日2公演) 公演内容「食べられたやまんば(人形劇ほか)」 新芸能集団「乱拍子」	公演料 500千円	6-1
	児童芸術鑑賞会	9/7(火)	文化センターさざ波	小学生全学年対象(1公演) 公演内容「海底2万マイル」劇団ポプラ ※町内小学校5～6年生の紋別市鑑賞会の参加なし。次回参加年度は令和4年度以降。	公演料 500千円	6-1
	中学生芸術鑑賞会	10/6(水)	文化センターさざ波	中学生全学年対象(1公演) 公演内容「真夏の夜の夢」(株)笑う猫文化事業局	公演料 500千円	6-1
	子どもアート体験事業	未定	未定	国内外で活躍するアーティストが学校や文化施設に出向き、子ども達と一緒にワークショップや創作活動を行い交流する事業。 ※北海道文化財団募集事業申請中。採択結果は、4月予定。	—	6-1
	文化芸術作品展示会等の奨励	年間	文化センター	湧別町文化連盟加盟団体や町民個人を中心に、絵画や写真などの展示を実施し、芸術文化活動の振興を図る。	—	6-2 6-3 6-4
カルチャー教室	年間	町内施設	子どもから大人までを対象に趣味や一般教養など町民のニーズに合った講座等の開催に努める。	講師謝礼 80千円	6-1	
大会開催等	第36回サロマ湖100kmウルトラマラソン	6/27(日)	湧別総合体育館裏	100kmスタート午前5時00分(100kmの部)総合体育館裏(東道路上) 6/26にはウェルカムパーティー・開会式を開催	負担金3,000千円	
	湧別町少年柔道大会「上野カップ2021」	10/9(土) ～10(日)	湧別総合体育館・武道館	本町のふるさと応援大使であり、柔道オリンピックメダリストの上野姉妹の冠を掲げた全道規模の小・中学生の柔道大会を開催することにより、少年相互の親睦を深め、町の活性化や交流人口の増加を図る。 参加規模：道内外小・中学生400名 大会には上野姉妹のほか、現役の女子柔道の著名人を招致する予定。	歳入総額 700千円 歳出総額 3,410千円	9-1 9-2 9-3 9-4
	町民体カテスト	11月	文化センターさざ波	町民に対してスポーツや運動を継続して続けることの大切さや健康づくりを高めるきっかけづくりを図る。	スポーツ推進委員報酬16千円	
	第46回町民300歳バレーボール大会	12/5(日)	湧別総体他	自治会対抗形式9人制バレーボール大会	消耗品28千円 食糧費33千円	
スポーツ教室・講習会事業	【新規】ボルダリング体験教室	5月～6月	中湧別総合体育館	ボルダリングの基礎を学び楽しみ方を味わせるとともに、技法を習得させる。 講師：遠軽高校山岳部監督 畑野 和宏 氏 対象：小学生	講師謝礼 10千円	
	【新規】スラックライン体験教室	5月～6月	中湧別総合体育館	スラックラインの基礎を学び楽しみ方を味わせるとともに、技法を習得させる。 講師：北海道スラックライン代表 山森 和也 氏 対象：小学生～一般	講師謝礼 60千円	
	町民ランニング教室	5月	湧別中学校百年記念広場	基本姿勢から高度な技術、さらには運動前後のストレッチを習得することで、運動能力の向上や怪我の予防、運動を始めるきっかけづくりを図る。 ①中学・高校部活動の部 ②ランニング教室 ③陸上教室 講師：作、AC北海道代表 作田 徹 氏 作、AC北海道 菊地 真司 氏 他予定 サポート：北海道大学陸上部 対象：小学生～一般	講師謝礼 120千円	9-1 9-2 9-3

令和3年度社会教育事業計画

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画 推進項目
スポーツ 教室・ 講習 会 事業	ジュニアスイミング スクール	7月	湧別プール (第1回)	正しい泳法を習得させるとともに、泳ぐことの楽しさを味わわせ、水泳の普及拡大を図る。	講師謝礼 48千円	9-1 9-2 9-3
		8月	湧別プール (第2回)			
	少年少女初心者ス ケート教室	R4. 1月予定	芭露ス ケートリ ンク	初心者に対してスケートの楽しさを味わわせるとともに、技法を習得させる。	講師謝礼 12千円	
	クロスカントリー スキー教室	R4. 2月予定	五鹿山ス キー場	スキーの楽しさを味わわせるとともに、初心者から上級者まで幅広い技法を習得させる。 講師：阿部雅司(リレハンメル五輪金メダリスト)	講師謝礼 60千円 スポーツ推進委員 報酬7千円	
	健康運動教室	4月～3月	湧別総合 体育館	トレーニング器具等を使った個人(または集団や団体)指導を行うことにより町民に健康維持増進と体力の向上を図る。 担当：運動指導職員 原 菜畝	—	
	運動指導	4月～3月	湧別総合 体育館他	①湧別総合体育館トレーニングルーム指導 水・金(9:00～11:00) 火・木(14:00～16:00) ※曜日・時間に変更する可能性有 ②個別運動相談・トレーニングメニュー作成 ③保健福祉分野との連携	—	
ス ポ ー ツ 推 進 委 員 事 業	チャレンジスポー ツスクール事業	5月～3月	湧別総合 体育館他	低学年から様々なスポーツに触れることで、自分に合ったスポーツを見つけ出すきっかけづくりと、学校を越えた友達づくりの一助とする。 5月 入学式・鬼ごっこ(湧別総合体育館) 6月 フットベース(湧別総合体育館裏) 7月 キャンプ(湧別総合体育館裏) 8月 室内雪合戦(レイクパレス) 9月 パークゴルフ(湧別総合体育館) 10月 風船バレー・ミニバレー(湧別総合体育館) 11月 カローリング・ハッピーボーリング・ペタンク(湧別総合体育館) 12月 フロアボール(湧別総合体育館) 1月 スケート体験・氷上ホッケー(芭露スケートリンク) 2月 タグラグビー(湧別総合体育館) 3月 ミニ運動会・卒業式(湧別総合体育館)	講師謝礼 パークゴルフ 5千円 フロアボール 10千円 タグラグビー 5千円 スポーツ推進委員 報酬269千円	9-1 9-2 9-3
	巡回スポーツ指導	随 時	町 内	自治会・老人クラブ等の要請に基づき、スポーツ推進委員が出向き、軽スポーツやレクリエーションの指導を行う。	スポーツ進委員 報酬13千円	9-2 9-3
	スポーツ推進委員 研修	随 時	管内 道内	町民のスポーツ活動の的確な支援を行うため、研修を通じて委員としての資質向上を図る。 遠軽・紋別地区スポーツ推進委員研修会 オホーツク管内社会体育振興セミナー 北海道スポーツ推進委員研究協議会	スポーツ進委員 報酬122千円 費用弁償98千円	
団 体 活 動 の 育 成 援 助 等	少年スポーツ団体の 育成援助	年 間	-	少年団本部への補助	補助金600千円	9-2 9-4
	一般スポーツ団体の 育成援助	年 間	-	体育協会への補助	補助金735千円	
	大会出場助成	年 間	-	全道大会以上の出場者に対して遠征費の一部を助成する。(湧別町スポーツ・文化遠征費補助金)	補助金2,000千円	
	合宿誘致助成	年 間	各施設	合宿を誘致することにより町のスポーツの振興を図る。 (湧別町スポーツ・文化合宿誘致事業補助金)	補助金1,378千円 詳細は別紙関連事業に記載のとおり	
施 設 の 整 備 活 用 そ の 他	施設の整備	年 間	各施設	施設の点検、適正な維持管理を図る。	詳細は別紙社会教育施設整備計画のとおり	9-4
	施設の活用	年 間	各施設	指定管理施設の適正かつ効率的な運営に対する監督、学校開放施設に関する利用調整など体育施設の有効活用を図る。	学校開放運営報償 90千円	
	スポーツ安全保険 の加入促進	随 時	-	広報及び事故手続き等の補助	-	9-2

## 令和3年度社会教育事業計画

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画推進項目
図書館	図書館資料の収集、整理、保存	通年	両館	両館を特徴付けた選書を行い、それぞれに蔵書を区分し保存する。 ・資料等計画的に幅広く豊富に備え、適切な蔵書構成を維持する。	資料費（図書、雑誌、新聞、視聴覚） 8,271千円	7-1
	利用促進、読書機会の提供	通年	両館	調べものの相談、案内を通して利用促進を行う。		7-2
				新着図書案内や図書館行事など、最新情報の提供に努める。 ・読書通帳提供 ・図書館だより、新着図書案内の発行 ・ホームページの活用		7-2
				来館が困難な町民に対して宅配便を活用して個別に配送貸出を行う。 ・宅配貸出サービス		7-2
	ブックスタート	毎月1回	健診会場	4ヶ月児健診時に、乳児とその保護者へブックスタートパック（絵本などが入ったバッグ）をメッセージと共に手渡す。また、5歳児健診時には絵本を1冊とブックガイドを渡す。  協力（バッグ制作） ・ルピナスの会 協力（読み聞かせ） ・リーディング倶楽部たんぼぼ ・湧高ボランティア部	資料費（絵本） 130千円	7-2
	絵本くらぶ	年間（毎月1回）	両館	3歳までの乳幼児がいる家庭におすすめ本セットを宅配する。（登録制）		7-2
	移動図書館車の運行	通年	両館	移動図書館車で町内を巡回し、広域サービスを実施する。機動性を活かし遠隔地域を中心に据え、子どもから大人まで図書に出会う場を広げ、読書活動の推進を図る。 図書館職員が選本した文庫を配本する。 ・各小中学校、義務教育学校、湧別高校 ・各郵便局 ・児童施設 ・高齢者施設等		7-3
	学校図書館支援	通年	町内学校	・クラス配本 ・学校図書館用図書の購入支援 ・学校図書館レイアウト相談 ・学校図書館蔵書管理、蔵書計画 ・図書館見学の受入 ・職場体験の受入 ・読書オリエンテーション ・家読おすすめ絵本リスト作成配布		7-4
	映画上映会	年2回	湧別図書館	湧別図書館の多目的室を活かし映画会を行う。	消耗品 50千円（DVD）	7-2 7-3

### 令和3年度社会教育事業計画

領域	事業名	期 日	場 所	計 画 内 容	予算額	中期計画 推進項目
図 書 館  活 動	古本コーナー	通年	両館	古本、古雑誌のリサイクル活動。		7-2 7-3
	特別展示	9月～10月	両館	町民大学講師著作展示		7-2 7-3
		年間	両館	テーマ：年中行事		
		4/23～ 5/10	両館	子ども読書週間		
		10/27～ 12/5	両館	読書週間		
		未定	中湧別 図書館	絵本原画展示	著作物使用料 30千円	
		年間	両館	協力展示（展示スペースの貸出）	—	
	連携・ネットワー ク	通年	両館	ボランティア、サークル育成 ・読み聞かせ活動支援（りんごっこ、リーディング倶楽部たんぼぼ、湧別高校ボランティア部） ・読書推進活動支援「オープンブックカフェ」		7-4
		年3回	児童セン ター	児童センター事業支援 ・読み聞かせ会参加協力、読書推進事業の実施		
		会議3回 研修2回	湧別 図書館	図書館協議会 ・定例会議 ・委員視察研修 (遠紋ブロック研修会:紋別市) (オホーツク管内公共図書館協議会:端野)		
7月～9月		両館	・北海道教育委員会主催「本を読んでファイターズを応援しよう」キャンペーン参加			

令和3年度社会教育事業計画

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画推進項目
文化財保護活動	文化財の保護① 埋蔵文化財	年間	町内各所	<ul style="list-style-type: none"> <li>○開発行為に伴う埋蔵文化財の保護事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発事業者との事前協議</li> <li>・所在調査、試掘調査</li> </ul> </li> <li>○埋蔵文化財包蔵地の状況把握 <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状確認作業（遺跡パトロール）</li> <li>・周知資料（台帳等）の整備</li> </ul> </li> <li>◎シブノツナイ竪穴住居跡の調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>・発掘調査：竪穴住居跡の年代等内容確認 * 7月中旬～8月中旬予定</li> <li>・発掘調査概要報告書の刊行</li> </ul> </li> <li>○シブノツナイ竪穴住居群調査検討委員会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・有識者3名、国・道の担当者2名程度</li> <li>・夏と冬の2回開催</li> </ul> </li> </ul>		8-1
	文化財の保護② 自然関連	年間	町内各所	<ul style="list-style-type: none"> <li>○北海道指定文化財アッケシ草群の経過観察</li> <li>○天然記念物の手続（死亡・はく製・調査） <ul style="list-style-type: none"> <li>・オジロワシ</li> <li>・タンチョウ</li> </ul> </li> <li>○記念木業務における関連部署との調整</li> </ul>		8-1
博物館活動	博物館資料① 収集	年間	郷土館・ ふるさと 館JRY	<ul style="list-style-type: none"> <li>【開拓関連資料】</li> <li>○資料寄贈への対応</li> <li>【考古資料】</li> <li>○発掘調査に伴う出土資料の文化財認定と譲与申請</li> </ul>		8-1
	博物館資料② 整理・保管	年間	郷土館・ ふるさと 館JRY ・収蔵庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>○考古資料 <ul style="list-style-type: none"> <li>・三宅コレクションの整理</li> <li>・シブノツナイ 竪穴住居群出土資料の整理</li> </ul> </li> <li>○開拓関連資料 <ul style="list-style-type: none"> <li>・保存環境の整備</li> </ul> </li> <li>○収蔵庫の管理と保管資料の状況確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>・金属資料の清掃整理（防さび塗料塗布）</li> <li>・ガラスネガの写真の清掃整理</li> <li>・資料外保管物の処分</li> <li>・JRY収蔵量増加</li> <li>・資料移動（旧邑小体育館）</li> </ul> </li> <li>○収蔵資料の特別利用許可に関する業務</li> </ul>		8-1
	調査研究	年間	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>【博物館資料（開拓期）の保存・活用】</li> <li>○保存 <ul style="list-style-type: none"> <li>◎屯田資料</li> </ul> </li> <li>○活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動の系統化</li> <li>・開拓期の衣食住</li> <li>・冬期の生活</li> </ul> </li> <li>【埋蔵文化財の保存・活用、博物館教育】</li> <li>○保存 <ul style="list-style-type: none"> <li>（主にシブノツナイ竪穴住居群）</li> <li>・竪穴住居跡の年代と集落形成に関する研究</li> <li>・北海道考古学会 研究大会発表（5月）</li> </ul> </li> <li>○活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・遺跡を活用した博物館教育の実践的研究</li> </ul> </li> </ul>		8-1
	展示	年間	郷土館  ふるさと 館JRY	<ul style="list-style-type: none"> <li>○収蔵資料の展示 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度の発掘調査成果展（仮）</li> </ul> </li> <li>○郷土館協力員（旧ボランティアガイド） <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示解説（7月～8月、団体見学日など）</li> </ul> </li> <li>○常設展示更新 <ul style="list-style-type: none"> <li>・解説パネルの追加</li> <li>・資料名表示の更新</li> <li>・地学資料の整理展示</li> </ul> </li> <li>○収蔵展示室整備</li> </ul>		8-2  8-2

## 令和3年度社会教育事業計画

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画推進項目
博物館活動	博物館教育① 学校授業・研修会・講座	年間	郷土館・ふるさと館JRY	<p>【学校授業・研修会・講座】</p> <p>○開拓の歴史 （博物館が持つ過去の生活情報の内、日常生活に活用できるものを体験学習として実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・労働体験（鋸・斧・鉈）</li> <li>・炊飯体験（薪ストーブ・羽釜）</li> <li>・開拓期の衣体験</li> <li>・田炉裏疑似体験（屯田生活体験館）</li> </ul> <p>○博物館親子講座</p> <p>○先史文化 （地域の財産である遺跡に触れ、親しむ機会の提供）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先史の工夫を体験するモノづくり学習（土器・勾玉）</li> <li>・遺跡に親しむフィールドワーク</li> <li>・遺跡の知識を深める考古学関連講座</li> <li>発掘調査報告会 ⇒11月予定</li> <li>*調査成果に応じて実施を判断する</li> <li>・発掘調査現地説明会の開催（主に学校を対象）</li> <li>・大学と発掘調査を通じた連携</li> </ul>		8-3
	博物館教育② 広報・情報提供	年間	—	<p>【広報・情報提供】</p> <p>○博物館だよりの発行（湧く湧く内、HP）</p> <p>○郷土史に関する情報提供及び質問対応（レファレンス）</p>		8-3

中期計画推進項目の欄は、第2次湧別町社会教育中期計画における推進項目との対応を示すものです。

中期計画における領域	推進項目	表記
第1節 家庭教育	学習機会の提供	1-1
	活動等の支援	1-2
	学習環境づくり	1-3
	連携ネットワーク	1-4
第2節 少年教育	学習機会の提供	2-1
	活動等の支援	2-2
	学習環境づくり	2-3
	連携ネットワーク	2-4
⋮	⋮	⋮
第10節 生涯学習の基盤整備	学習推進体制整備	10-1
	施設整備・活用	10-2
	学習情報収集・相談	10-3
	指導者養成・団体	10-4
	連携ネットワーク	10-5

## 令和3年度 関連事業（後援・連携事業等）

団体名	事業名	期 日	場 所	計 画 内 容 等	備 考
青少年指導センター事業	子ども会フットベースボール大会（仮）	7/11 （日）	未定	単位子ども会の大会への参加を通して、青少年の健全育成を図ると同時に、地域子ども会活動の促進と、相互の交流を図る。また、監督会議や反省会等を通じ、育成会で構成される組織運営の健全化を図り、地域自治の基盤づくりを支援する。	
	子ども会交通安全駅伝競走大会（仮）	8/29 （日）	開盛小 → 中湧別小		
	子ども会ミニバレーボール大会（仮）	11/21 （日）	中湧別総合体育館 湧別総合体育館		
	子ども会リーダー研修会（仮）	7/28（水） ～29（木） 3/29（火） ～30（水）	五鹿山公園 紋別生涯学習センター	社会教育事業 少年教育参照	
	中高生リーダーの養成	年 間	ふるさと館JRYほか	リーダー研修会の企画運営などを行う、中・高生リーダークラブ「E=QVL（イクアール）」および「Rainbow prop（レインボープロップ）」と、その指導にあたる青少年指導員の活動を支援し、地域づくりやまちづくりに参画できるリーダーの養成を図る。	
町民会議	青少年健全育成町民会議事業	年間		青少年のたくましく健全な成長と青少年問題の理解を深めるとともに健全育成を図る。①あいさつ運動②指導、補導③青少年だより発行④優良青少年表彰	
文化連盟	総合文化祭	芸能の部 10月30日 展示の部 10月～11月	文化センターさざ波 文化センターTOM	町内の芸術・文化関係者による日頃の活動成果の発表の機会と、町民に芸術・文化活動にふれてもらい文化の振興、発展を促します。	
良いもの見よう聞こう会	芸術鑑賞会	通 年	各文化センター	日時未定 ミッフィーこどもミュージカル 9月17日(金) TOM 清水ミチコトーク&ライブ2021	
ビッグ・ウェーブ	芸術鑑賞会	通 年	各文化センター	未定	

## 令和3年度 関連事業（後援・連携事業等）

団体名	事業名	期日	場所	計画内容等	備考
体育協会	ゆうべつ五鹿山マラソン2021	5月予定	五鹿山スキー場	五鹿山スキー場を駆け上がるマラソン大会を実施することにより、町民の体力増進や健康づくりを高めるきっかけづくりと地域の更なる一体感の醸成を図ることを目的とする。	教委、スポーツ推進委員も運営協力
実行委員会	チャレンジデー2021	5/26 (水)	町内	住民総参加型のスポーツイベントである「チャレンジデー」に参加し、町民の健康づくりや体力づくり、スポーツやレクリエーション活動への参加意欲の高揚と習慣化を推進する。	
	札幌合気会合宿	9月	レイクパレス	町内で合宿を行い、公開練習等を通して町民と交流を図るとともに合気道の普及を図る。 合宿予定人員：30名予定	
	日本大学合気道部合宿	10月	レイクパレス	合宿中に行われる公開練習や演武会、教室等の開催により合気道の普及を図るとともに町民との交流を図る。 合宿予定人員：30名予定	
	北柔会関連道場柔道合宿	10月	湧別総合体育館	柔道合宿のほか、町内の子ども達に対する柔道教室を開催することで、柔道の普及、交流人口の拡大を図る。 合宿予定人員：80名（指導者含む）予定	
	湧別原野林-ツクノカトリ-スキー大会	R4. 2/27	遠軽町 →湧別町	原野コース80km、北大雪コース56km、遠軽コース22km、湧別コース24km、10kmコース、5kmコース、駅伝コース95km	

令和3年度社会教育施設整備計画（500千円以上または主要なもの）

（単位：千円）

施設名	改修・整備等内容	事業費	備考
芭露畜産研修センター	屋上部分防水工事	3,500	
文化センターさざ波	建物塗装工事（さざ波北面 全5期中4期目）	7,300	
	ギャラリー内裝修繕	500	
文化センターTOM	区画線補修工事（北側）	800	
湧別総合体育館	トレーニング機器借上（5年リース） トレッドミル、アップライトバイク インパクトチェストプレス インパクトラットプルダウン インスティンクトペクトラルフライ/リアデルト インスティンクトレッグプレス/カーフ インスティンクトレッグエクステンション/カーフ 各1台（合計7台）	1,298	12ヶ月分
中湧別総合体育館	重油タンク改修工事	4,300	
中湧別野球場	バックネット等改修工事	10,500	
湧別屋内ゲートボール場	人工芝張替工事	16,000	
湧別運動公園	トイレ改修工事	1,280	
五鹿山PG場	乗用型芝刈り機の購入	3,000	
ふるさと館JRY	エントランス水銀灯	644	
	JRY屋根修繕（ガラスブロック防水）	2,415	